

厚生労働科学研究費補助金
(政策科学総合研究事業(統計情報総合研究事業))
分担研究報告書

ICD-11 の適用を通じて我が国の死因・疾病統計の向上を目指すための研究
「ICD-11 の新基準を用いた抑うつ症および不安または恐怖関連症群の評価に関する研究」

研究分担者 成田瑞 国立精神・神経医療研究センター

研究要旨

ICD-11 へのアップデートによって、多くの精神疾患が ICD-10 とは異なる名称やカテゴリに分類されるようになった。とりわけ、抑うつ症および不安または恐怖関連症群は、日本を含めた各国において有病率が高い病態であるにも関わらず、この度のアップデートによって大きな変更が生じた疾患群である。本研究では、これらの新しい名称やカテゴリに対する臨床や研究などにおける運用について把握し、適切な ICD-11 の使用方法について考察することを目的とする。

A. 研究目的

ICD-11 のアップデートによる新しい名称やカテゴリに対する臨床と研究における運用について把握し、適切な ICD-11 の使用方法について考察することを目的とする。

B. 研究方法

精神科医療従事者への聞き取り調査や、先行論文で使用されているカテゴリ、取得可能なデータをコーディングすることの難しさなどを評価する。

(倫理面への配慮)

人を対象としない探索的研究である。

C. 研究結果

既存のレセプトデータなどから抑うつ症および不安または恐怖関連症群を抽

出するための SQL コードを作成した。また先行研究で使用されているカテゴリを質的に評価した。SQL による疾病データ抽出自体は技術的にも容易であり、一度スクリプトを組み立てれば簡便に使用可能であると考えられた。一方で、先行の疫学研究で使用される ICD ベースの疾病の定義自体が heterogeneous であった。

D. 考察

ICD-10 から ICD-11 への移行そのものはデータ解析の観点からさほどの困難は無いものと考えられた。しかし、疾病の定義そのものについての complexities があり、例えばうつ病 1 つをとっても、多様な定義が用いられていた。本質的には DSM-IV TR から DSM-5 へ移行した際と同様に、双方の定義が当面は使用されていくと考察される。

E. 結論

該当なし

G. 研究発表

1. 論文発表

該当なし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

2. 学会発表

該当なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし